



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18 承認 1953.6.29

- 事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F (0246) 25-3000
- 例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘 (0246) 35-3000
- 例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：山野辺倉平 幹事：阿部 弘行 発行：会報・広報委員会

第 2851 例会 (26号) 2013 年 1 月 24 日 (木) 曇のち晴れ

外部卓話 SPEECH

「包装紙で復興支援」

アイデッツモウ プロジェクト

田中 由里子さん (いわき市)
阿部 知子さん (横浜市)



取り組みを紹介する田中さん(左)と阿部さん

阿部：東日本大震災の直後、何か被災地支援の手助けができないものかと考えていた時に、仙台の子育て支援のNPOが絵本を集めていることを知りました。

近所のママ友や海外の友人にも協力してもらい、約 800 冊の絵本を集めてNPOに送ったのは震災の年の夏頃でした。その時、「何か自分にできることをしたい」と思う人が大勢いることを知り、被災地支援情報だけを載せるサイト「ラブジャパン」を立ち上げました。そんな中、ニューヨーク在住のフィッツジェラルド直子さんが震災の2日後に仲間を募って街頭で募金活動をし、1万ドル以上を集めたという新聞記事を目にしたのです。ネットで検索して早速取材を申し込みました。直子さんとの出会いです。一方、田中由里子さんもネットを通じて直子さんとコンタクトを取っていました。それぞれに何かできないかと考えている3人で一緒にプロジェクトを、という直子さんの提案を受けて発足したのが「アイデッツモウ プロジェクト」です。

田中：プロジェクトの目標は「福島復興支援」ですが、では具体的に何をするのか。皆が小さな子を持つ母親であることもあって、福島の子供たちのこ

とがまず気になりました。外遊びもできず何かに怯えたような暮らしをしている子供たちが大勢いることを知ってほしい。そこで子供たちの描いた絵を使って包装紙を作ることを思いついたのです。絵は、津波で全壊した久之浜第一幼稚園の園児に描いてもらいました。第1弾として、震災の年のクリスマスに合わせて赤と緑の包装紙を作り、発売1カ月で4,300枚を販売、1枚あたり40円、合計17万4千円を寄付することができました。

震災から1年が過ぎ、この活動は福島が復興するまで続けたいという思いもあって、昨年2月から第2弾を販売しています。第2弾の絵は、富岡町にあった東洋学園の知的障害児と大熊町の自閉症児の親の会「スマイル」の子供たち。今回は通年で使えるようにピンクと白で、それに葉書も2種類作りました。寄付額を上げるため販売価格は80円、1枚あたり50円を寄付します。包装紙には企業のロゴなども入れられますので、お使い頂けたら嬉しいです。

阿部：包装紙も葉書も、ラブジャパンで購入できます。ただ残念なことに、第2弾の売れ行きは第1弾ほどではありません。私たちのプロジェクトに限らず、1年半以上の時間を経てあの震災は風化し始めているのかもしれないと思うことがしばしばあります。でも私たちが動けば、まだそのスピードを遅くすることができるかもしれません。これからもこの活動を地道に続けていくことで、福島の復興はまだ終わっていないこと、でも子供たちは今もこの土地で元気に生きているんだということを、伝えていきたいと思っています。



支援はがきのデザイン

1月はロータリー理解推進月間



2012~2013年度
国際ロータリーのテーマ

「奉仕を通じて平和を」

Peace Through Service

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

◆司会：阿部幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我らの生業）・四つのテスト（奈良宏一会員）〕



奈良宏一会員

◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

アイデッツモウ（愛で包もう）プロジェクト代表・阿部 知子さん、田中 由里子さん

★結婚祝



浜田成人さん
(1月30日)

結婚20年を迎えます。この間、国内外で9回の引越を経験しており、妻には大変感謝しております。



森雄治さん
(1月30日)

結婚の翌日に入籍した。その時の住民票を今も大事に財布に入れている。何とか一生添い遂げられるように、と誓いの意味もある。

★誕生祝



森雄治さん
(1月11日)

今年の誕生日はお葬式が3つ入るなど「生」について考えさせられた日であった。命を大切にしたい。



山崎慶一さん
(1月25日)

私が生れた当時、おやじは慶応大の学生で、長男で生まれたこともあり「慶一」と名付けられた。1928年はミッキーマウスの生まれた年。向こうは歳をとらないが…。



越智正典さん
(1月28日)

去年、後期高齢者の仲間入りをしたが、あっという間に1年が過ぎた。この1年も早いんだろうな。



花見政行さん
(1月27日)

サラリーマン生活もあとなわすか。第二の人生を豊かに生きる準備をしたい。健康な体を親に感謝したい。

Happyバースデーソング斉唱

◆幹事報告

- いわき市国際交流協会より会報「ワールド・アイ」が届きました。
- 郡山、いわき小名浜RCより会報と2月プログラム予定表が届きました。
- 渡辺公平ガバナーエレクトから国際協議会参加のはがきがサンディエゴから届いております。

◆会長挨拶ならびに報告



阪神淡路大震災の風化の話先週したが、今回の東日本大震災で仙台市若林区の「浪分（なみわけ）神社」が有名になった。津波が来たことを後世に伝えるため残された社や石碑が数多くある。記憶の風化、忘れさせない先人の警告をあらためてかみしめたい。

相馬市原釜に津（つのみつ）神社がある。400年前の「慶長の津波」の時に約700人が亡くなり、その鎮魂を含め、ここまで逃げれば大丈夫だという場所に造られたそう。400年前に起こったことを子々孫々に知らせて、風化させないできた地域の人たちの努力は学ぶべきことが多い。今回も約50人がその神社に逃げて助かった。

いわきでも全国からの支援もあり、復興事業が進んでいるが、いかに記憶の風化を防ぐかが大事だ。小さな孫がもう少し大きくなったら、被災地に連れて行っていろいろと教えたい。皆さんもお孫さんたちにお話をしていただきたい。いわきで堤防のかさ上げされるようだが、400年に一度、1000年に一度の大津波という時に、果たして単にコンクリートでかさ上げすることがいいことなのだろうか。

3月10日に、いわき市平薄磯地区で「千の風について」というイベントが催される。埼玉県春日部西ロータリークラブが主幹になって、国際ロータリー第2770地区の皆さんが来て、いわきの子供たちに風の絵を描いてもらい、それをみんなで揚げて復興を祈るといふ。去年のパンジーの花植えに続く支援に感謝したい。

委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
1月24日	52名	27名	—

◆スマイルボックス委員会（松崎浩委員長）

♥山野辺倉平さん（田中様卓話よろしくお願ひします）♥阿部弘行さん（田中様卓話よろしくお願ひします）♥関口武司さん（田中様卓話宜しくお願ひします）♥越智正典さん（誕生祝ありがとうございます。田中さん卓話よろしくお願ひいたします）♥山崎慶一さん（誕生祝ありがとうございます）♥花見政行さん（1月27日で54才になります。誕生祝ありがとうございます）♥浜田成人さん（結婚祝ありがとうございます）♥森雄治さん（誕生日祝、結婚祝ありがとうございます）♥根本義男さん（今年もよろしく御願ひします。何時もお世話になり、ありがとうございます）♥奈良宏一さん（福島高専では復興人材育成事業の一貫として社人向け特別講義とフォーラムを開催しています。多数の皆様参加をお願い致します）♥松崎倫久さん（早退します）♥伊藤盛敏さん（早退します）以上、12件

★本日の例会案内 1月31日 PM12:30～

会員卓話 三瓶和秀会員

お食事メニュー＝ぶりカマとだいこんの煮付け

★次回の例会案内 2月7日 PM12:30～

山守ガバナー補佐来訪

お食事メニュー＝茶そばのつけ麺